

取扱注意	
解禁	テレビ、ラジオ、インターネット 8月28日（月）17時以降
	新聞 8月29日（火）朝刊

平成29年8月28日  
教育委員会事務局  
教育課程推進室

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査（横浜市の結果）

平成29年4月18日に横浜市立小学校※6年生（約2万8千人）、中学校※3年生（約2万5千人）を対象に実施された全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせします。※義務教育学校、特別支援学校を含む

### 《 教科に関する調査結果 》

#### ◎調査結果からみる本市の特徴

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題です。

- ・ 国語、算数において、「知識」に関する問題よりも、「活用」に関する問題のほうが、全国に比べて1ポイントから2ポイント 高い 状況です。
- ・ 全ての教科において、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題の両方で、全国に比べて1ポイントから2ポイント 高い か同等の状況です。

#### 小学校 「平均正答率（％）」

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
<b>横浜市</b>	<b>75</b>	<b>59</b>	<b>80</b>	<b>48</b>
全国との差	±0	+1	+1	+2
神奈川県	73	57	77	46
全 国	75	58	79	46

#### 中学校 「平均正答率（％）」

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
<b>横浜市</b>	<b>78</b>	<b>74</b>	<b>65</b>	<b>50</b>
全国との差	+1	+2	±0	+2
神奈川県	77	72	64	48
全 国	77	72	65	48

※ 文部科学省の公表と同様に、都道府県・政令指定都市の平均正答率は整数値で表しています。  
また、全国の平均正答率については、文部科学省の許可のもと整数値に直して表しています。

#### ◎調査結果に特徴のある設問

全国の平均正答率との差が5ポイント以上あった主な設問は、次のとおりです。

##### 小学校

- ・ 国語Aの「漢字を書く（きぼう者）」設問が6ポイント 低い。
- ・ 国語Bの話合い活動における「自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を考える」設問が6ポイント 高い。
- ・ 算数Bの「与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を考え、その理由を記述できる」設問が5ポイント 高い。

##### 中学校

- ・ 国語Aの「漢字を書く（えんき、いとなむ）」設問が7ポイント 低い。
- ・ 数学Aの「 $10-6 \div (-2)$ を計算する」設問が5ポイント 低い。
- ・ 数学Bの三角形の合同において「筋道を立てて考え、証明する」設問が7ポイント 高い。
- ・ 数学Bの「与えられた式を解釈し、的確に処理する」設問が6ポイント 高い。

※ 「生活習慣・学習習慣と教科に関する調査結果との関係」を示す項目や「授業改善に向けて」に関する項目については、後日、横浜市教育委員会のウェブページでお知らせします。

#### お問合せ先

教育委員会事務局 教育課程推進室長 松原 雅俊 Tel 045-671-3723